

令和元年村上市議会第4回定例会
一般質問通告書

質問順

12月5日(木) 午前10時開会	1	鈴木 いせ子	1ページ
	2	河村 幸雄	3ページ
	3	山田 勉	5ページ
	4	川村 敏晴	6ページ
	5	嵩岡 輝夫	7ページ
12月6日(金) 午前10時開会	6	佐藤 重陽	8ページ
	7	本間 善和	10ページ
	8	鈴木 一之	13ページ
	9	小田 信人	15ページ
	10	木村 貞雄	17ページ
12月9日(月) 午前10時開会	11	高田 晃	19ページ
	12	稲葉 久美子	21ページ
	13	平山 耕	23ページ
	14	竹内 喜代嗣	25ページ
	15	渡辺 昌	27ページ

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 9 番） 鈴木 いせ子

質問事項	質問要旨	答弁者
1 令和元年度の稲作と来年度への対策について	<p>農林水産省は、11月20日、令和2年産の主食用米の適正生産量について、需要見通しと同水準の708～717万トンとし、令和元年産の適正生産量から約10万トン減らしました。このため、需給安定には今年以上の大幅な転作が不可欠であり、飼料用米や麦、大豆への作付転換が重要になると言われています。</p> <p>米の消費量の減少が進む中、国の減反政策が終わり、地域、個人での判断で稲作が進められているところですが、令和元年産の稲作の状況と来年度の対策について、次のとおり伺います。</p> <p>令和元年産米の地域別1等米比率について伺います。</p> <p>令和2年産主食用米の適正生産量が設定されたことを踏まえ、主食用米からの転換をどのように考えていますか。</p> <p>減反政策が終わってから農地の荒廃が進んでいると考えますが、市では現状をどのように捉えていますか。</p>	市長
2 ふるさと納税の取組について	<p>総務文教常任委員会では、今年10月、平成27、28年ふるさと納税日本一に輝いた宮崎県都城市で、ふるさと納税について視察してきました。焼酎売上高5年連続日本一の霧島酒造の焼酎と全国和牛能力共進会内閣総理大臣賞受賞の都城産宮崎牛など都城の和牛が自慢のお礼品であり、寄附金額は平成30年度で約95億円とのこと。村上市と都城市では環境も気候も違いますが、学ぶことは多くありました。</p> <p>そこで、村上市のふるさと納税について、次のとおり伺います。</p>	市長

<p>3 閉校になった学校の跡地利用について</p>	<p>村上市のふるさと応援寄附金について、過去5年間の寄附金額の推移について教えてください。お礼品の品目は、どのように選定していますか。</p> <p>10月19日から11月2日にかけて、神林地区内の小学校5校の閉校記念式典に出席してきました。来年3月末にいずれの学校もその長い歴史に幕を閉じることになりますが、これまで地域に愛され、地域と共に歩んできた学校であったことを強く感じた式典となりました。</p> <p>卒業されたすべての方々にとって思い出深い校舎です。廃校後の跡地利用については、本市において既に検討が進められているところですが、今後の利用計画について伺います。</p>	<p>教 育 長</p>
----------------------------	--	--------------

[メ モ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 2 番） 河 村 幸 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 学校給食の課題について	<p>子どもの健康や成長に直結する学校給食の意義は高まってきており、給食を無償化する動きが広がっています。少子化や子どもの貧困問題への対策として位置付けられているほか、人口減少対策や経済的に厳しい保護者への負担軽減、若者の定住・転入の促進などにつなげようと支援する傾向にあります。</p> <p>地域社会で子育てを支えていく方策として、今後の村上市の考え方、また本市の学校給食の提供における課題について、次のとおりお伺いいたします。</p> <p>学校給食の無償化も含めた助成事業について、本市の検討状況をお伺いします。</p> <p>食物アレルギーがある小・中学校の児童・生徒の割合は増加傾向にありますが、学校給食におけるアレルギーや食中毒などの対策強化、安全確保についての考えをお伺いします。</p> <p>家庭で給食の話をする子どもが多いと聞いています。親子のコミュニケーションとして大切な時間だと思います。そこで、地産地消に対する社会的理解が高い中、地産地消の推進と栄養教諭の役割についてお伺いいたします。</p>	教 育 長
2 地域経済の活性化について	<p>景気後退が懸念される中、消費税率が10%に引き上げられたのに合わせ、プレミアム付商品券の販売が始まりました。併せて軽減税率、キャッシュレスの対策が盛り込まれましたが、それによって店を閉める流れが加速しないかと危惧しています。本市の経済や商店、中小企業へどのような影響が生じているのかお伺いいたします。</p> <p>本市に賑わいを創出しようとする事業として、</p>	市 長

	<p>空き家の有効活用や起業支援の施策について取組の進捗状況をお聞かせください。</p> <p>村上地区において、歴史・伝統文化を継承しつつ、町がどういう方向に変わっていくべきなのか、その羅針盤として歴史的風致維持向上計画は、私自身はもちろんのこと、市民・商店街においても期待するところであります。</p> <p>その計画の進捗状況をお伺いいたします。</p> <p>町屋の町並みや景観の保全、活用へ、村上市が策定した歴史的風致維持向上計画の取組が、市民と行政の協働により進められています。このことこそが地域への活性化、共生していく姿であると思います。まちづくりのための人材の育成、そして地域の活動へどのように支援していくのかお考えをお伺いいたします。</p>	
--	--	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（24番）山田 勉

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 熊出没対策について	今年、山中の木の实などが凶作、冬眠前の熊が人里に姿を現し、人的な被害が報告され、毎日のように熊の出没が見られます。これに対する対策はどのようにされていますか伺います。	市 長
2 村上市人口減少対策について	村上市では、人口減少対策について、これからどのような方策で人口減少に歯止めをかけるのか考えを伺います。	市 長
3 村上市スケートパークについて	市長は、村上市のスケートパークは「商業ベースにも乗る」と新潟日報の取材で発言しておりました。それについての具体的な内容について伺います。	市 長

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（11番）川村敏晴

質問事項	質問要旨	答弁者
1 市所有施設の運用計画について	<p>昨年そして今年と小・中学校の閉校記念式典が挙行され、統廃合が進みましたが、閉校後の校舎、体育館等の建物及び敷地は、今後どのような活用を考えていますか。</p> <p>市内各地区にあるスポーツ施設の耐震化、老朽化対策を踏まえ、施設の活用と存続について、第3回定例会で、施設の改修等については、改めて早い時期に検討し、市民にお知らせしたいと答弁されていましたが、既に市より発表されていたスポーツ施設整備計画の手順との関係性も踏まえて、今後のスケジュールはどうなりましたか。</p>	市長 教育長
2 空き家バンク制度の現状と今後の課題について	<p>本市が空き家バンク制度を開設してから、現在までの移住状況はどのようになっていますか。</p> <p>本市の空き家バンク制度は、本市への移住を促進し、本市の人口増加に寄与するとともに、空き家が長年放置されることにより廃墟となり周辺地区に悪影響を生じさせる事態を根元から解消できる良き制度であると認識しています。そこで空き家になる前の段階で、市として、希望する所有者がいる場合に、空き家バンクのように移住希望者に住宅の賃貸や売買による住居提供の情報発信はできませんか。</p>	市長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番） 嵩岡輝夫

質問事項	質問要旨	答弁者
1 ふるさと納税95億円の都城市と本市の違いについて	<p>本年、総務文教常任委員会の行政視察で、宮崎県都城市に行つてまいりました。ふるさと納税額が、平成27、28年度2年連続日本一の市です。人口は約16万人です。</p> <p>平成30年度は、約64万件、金額は約95億円です。本市の平成30年度の実績をお聞かせください。</p> <p>都城市の実績と本市の差をどう認識されていますか。</p> <p>これからの取組について、基本的なお考えと、当面の目標をお伺いいたします。</p>	市長
2 観光客数増加の施策と瀬波温泉の活性化について	<p>第2次村上市観光振興計画を踏まえて、具体的な施策をお聞かせください。</p> <p>瀬波温泉のホテル汐美荘が、全国で温泉施設を運営する会社に事業譲渡することが新聞等で報道されています。事業譲渡は民間会社の事柄ですが、瀬波温泉を代表する宿泊施設であり、瀬波温泉の活性化にどのような影響を及ぼすかご所見をお聞かせください。</p>	市長
3 市役所敷地内の看板等について	<p>市役所敷地内の正面側には3つの大きな看板類があります。第2回定例会でも佐藤議員の質問に対して答弁をいただいておりますが、皇太子妃ゆかりの地、旧村上市の市民憲章、非核平和都市宣言、につき、重複しない範囲でそれぞれの設置した理由と、現在の存在理由をお聞かせください。</p>	市長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（21番）佐藤重陽

質問事項	質問要旨	答弁者
1 人口減少と向き合う行政運営の在り方について	<p>平成27年にまとめた村上市人口ビジョンと策定された村上市総合戦略は、第2次村上市総合計画とも重なるもので、令和元年度が村上市総合戦略5か年計画の実施最終年となります。この村上市総合戦略は人口減少問題を視野に策定された計画であり、4つの視点を切り口に施策の展開を図るものとしています。</p> <p>その4つの視点とは、視点1、雇用を増やし活気のあるまち、視点2、人をひきつけるまち、視点3、若者が暮らしやすいまち、視点4、地域の連携と支え合いのまち、の以上です。</p> <p>そこで、以下の事についてお尋ねします。</p> <p>4点を基に進めてきた政策の具体的な内容と成果についてお聞きかせください。</p> <p>来年度以降の行政の取組について、人口減少とどう向き合い行政運営を進めるのかお聞きかせください。</p> <p>村上市総合戦略と計画年度のずれがある第2次村上市総合計画との整合性は取れているのかお聞きかせください。</p>	市長
2 旧香藝の郷美術館購入問題について	<p>平成29年に購入した瀬波温泉「旧香藝の郷美術館土地・建物」売買契約書締結に当たり、購入価格が不当に高いのではないかと理由で損害賠償を求める住民監査請求が市民有志から起こされました。私は、瀬波温泉地区の皆さん、瀬波温泉街の皆さん、瀬波温泉旅館・ホテル関係者の皆さんから要望をいただいております。「旧香藝の郷美術館土地・建物」売買契約の議決では苦しい選択であり、賛否においては</p>	市長

会派が割れる結果となりましたが、本会議で賛成させていただきました。しかし、売買契約締結以降、市民及び瀬波温泉関係者の方々から購入価格に対する厳しい意見や情報が寄せられました。しかも、住民監査請求は監査委員に棄却され、結果を不服とした市民有志が提訴し住民訴訟へと発展しました。「旧香藝の郷美術館土地・建物」売買契約について議会議決以降、市民の関心は高まりましたが、村上市議会が市民・地域の声を基にこの問題を議論することはありませんでした。私自身、議会の構成員の一人として反省すべきと自身を戒めております。また、住民訴訟については11月6日で裁判が終結し、来年1月31日に判決が言い渡されるとの記事が新聞で紹介されていました。

そこで、市長にお伺いします。

「旧香藝の郷美術館」土地・建物購入を決めてから今日まで、どのような市民の声が届いていますかお聞かせください。

今年3月、コンサルタント会社から「旧香藝の郷美術館」利活用に対する調査報告が提出されました。長期にわたる事業提案となっていますが、どのように進めていくのかお聞かせください。

[メモ]

一般質問通告書

質問議員(3番) 本間善和

質問事項	質問要旨	答弁者
1 更なる被災住宅リフォーム事業の拡充について	<p>6月18日に発生した山形県沖を震源とする地震により被災した住宅の復旧のため、屋根の修繕に加え、外壁や基礎の改修も補助の対象とし、補助金等を拡充しましたが、申請期限の10月31日までの申請者は予定見込み件数約600件に対して、11月8日現在申請した方は101件(16.8%)と少なく、また被災住宅リフォーム事業の予算額78,450千円に対して交付決定済み額が約18,233千円(24.2%)に留まっています。</p> <p>このような状況から、次の項目について伺います。</p> <p>申請の件数が101件に留まっているのは、屋根、外壁、基礎の修繕以外の箇所に被害を受けている被災者が多くいるからだと考えられます。室内の壁・浴室・炊事場のタイル等にも甚大な被害を受けている被災者も多いとお聞きしています。支援対象工事を更に拡大すべきと思いますが、お考えを伺います。</p> <p>当初の対象工事を一部見直し、対象工事等の拡充を図っていただきましたが、多くの皆様から「外壁の申請をしたが補助の対象外であった」との声をお聞きしております。主な対象外の理由をお聞かせください。</p>	市長
2 義援金等の取扱いについて	<p>山形県沖を震源とする地震では、全国各地から心温まる義援金、災害見舞金等が村上市に寄せられました。これまでの総額と配分状況、今後の義援金等の取扱いについて伺います。</p>	市長
3 避難路の照明と高齢者の避難対応について	<p>山北地区では6月18日の夜間に津波注意報、翌日には大雨による避難準備・高齢者等避難開始情報が</p>	市長

<p>4 有害鳥獣対策について</p>	<p>発令されました。</p> <p>また全国的にも近年の災害は甚大で広範囲な被害をもたらしております。その中で常に課題として上げられるのが、高齢者の避難の在り方についてであります。市長も6月25日付け新潟日報社の取材記事に「山北地区は海岸に集落が張り付いていて、高齢者が短時間で急峻な山場を登って避難しなければならない状況は厳しいと感じた」と語っています。</p> <p>当地区では喫緊の課題であると捉えていることから、次の点についてお考えを伺います。</p> <p>津波による避難のため夜間に高齢者を裏山の神社等の高台まで避難させるとき、足元が暗く、避難に苦労したとお聞きしております。この課題を解決するため、ソーラー式照明器具の設置を地域まちづくり交付金の対象事業として取り扱うことができないのか伺います。</p> <p>大雨による「避難準備・高齢者等避難開始情報」の発令後に、一人暮らしの高齢者等は各自の責任で避難所まで移動しなければなりません。</p> <p>山北地区の避難所は「山北ゆり花会館」、発令時に「避難所まで交通手段がない高齢者は支所まで連絡を」などの呼びかけを行うべきと思いますが、お考えを伺います。</p> <p>サルによる農作物の対策として、電気柵の設置基準も大幅に緩和され多くの皆様に喜ばれているところですが、毎日のように熊への注意喚起がなされているにもかかわらず、人的被害も発生いたしました。また、昨年からは目立ち始めたイノシシによる水田への被害も発生しています。</p> <p>このような状況から、次の点について伺います。</p> <p>平成29年第3回定例会での私の一般質問において、サル、熊に対する抜本的な対策のため、村上市で期間限定の「専門の非常勤ハンター」を雇用する考えがないか伺いました。</p> <p>その後、猟友会との話し合いの検討結果を伺い</p>	<p>市長</p>
---------------------	--	-----------

	<p>ます。</p> <p>今後、被害が拡大すると思われる、イノシシの駆除奨励金とわな免許の取得に対する支援を行うお考えがないか伺います。</p>	
--	---	--

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 8 番） 鈴 木 一 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 医療的ケアを要する 子どもの在宅医療、訪問 診療について	<p>医療的ケア児とは、医学の進歩を背景としてNICU等に長期入院した後、引き続き人口呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障がい児のことであり、児童福祉法の改正にあたり、同法第56条の6第2項「地方公共団体は、人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児が、その心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を行う機関との連絡調整を行うための体制の整備に関し、必要な措置を講ずるように努めなければならない」とあります。</p> <p>当地域における体制整備はどのようになされていますか。特に在宅医療、訪問診療についてお伺いします。</p>	市 長
2 農福連携について	<p>農福連携は、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあると思います。国や自治体、法人などがそれを支援する取組であります。高齢化と人手不足が深刻な農業の現状を改善する手法の一つとしても農福連携が注目されています。このことを踏まえて次のとおりお伺いします。</p> <p>農業分野における諸問題として、農業人口の減</p>	市 長

<p>3 子ども子育て支援について</p>	<p>少と高齢化、そして耕作面積の減少が、今日の農業が抱えている主な課題であると思われますが、本市の現状と対応はいかがかお伺いします。</p> <p>福祉分野における諸問題として、必要に迫られる障がい者の就職事業は、日本における障がい者の総数が平成30年の時点で約900万人を超え、全人口の7.4%に当たります。内訳は、身体障がい者が約半数、精神障がい者は4割、知的障がい者は残りの1割というのが概況であります。障がい者の就労支援について、どのように取り組んでいかれるのかお伺いします。</p> <p>農業と福祉が連携することで、それぞれの課題が解決され、特に障がい者におきましては農業で自然とふれあい、心身回復などの効果が期待されています。新潟県の事業の一環として農作業受託サポーター配置事業等が行われており、官民一体となり連携の強化が今後望まれると思いますが、事業導入のお考えについてお伺いします。</p> <p>急速な少子化の進行は、社会や経済、地域の持続可能性を根底から揺るがす事態をもたらしております。このような状況の中、子どもが心身ともに健やかに成長できる環境整備を推進することが必要と思われます。</p> <p>子どもたちが冬期間や雨天時でも屋内で遊べる施設や公園を整備してほしいと市民や団体からの要望が出ています。空き校舎、空き店舗等をユニバーサルデザインにより整備し、子育て支援の拠点として活用することについて、市長のお考えをお伺いします。</p>	<p>市 長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（18番）小田 信人

質問事項	質問要旨	答弁者
1 本市の経済活性化事業について	<p>10月1日より消費税率が10%となり、経済の低迷が心配されます。国の施策でありますプレミアム付商品券の利用状況と効果について、どのように考えるか伺います。</p> <p>市独自のポイントカード事業への可能性について伺います。</p> <p>経済建設常任委員会で、苫小牧市の地域完結型ポイントカードを活用した経済活性化事業について研修してまいりました。</p> <p>この事業は、行政、地域商店街、大型店が連携した事業であります。イオングループで発行しているWAONカード（ご当地WAON）と連携し、加盟店で買い物したらポイントが付き、その他市のイベントやボランティアに参加するとポイントが付くようになっております。また、市内の健康増進施設や公共施設を利用してもポイントが付くようになっていました。</p> <p>本市におきましても経済活性化を図るとともに、社会貢献活動や健康増進事業等の市主催の事業促進を図る意味において必要な施策ではないかと思いますが、市長のお考えを伺います。</p> <p>住宅リフォーム事業補助金の新年度予算への計上はどうなるのか伺います。</p>	市長
2 森林セラピーロードの整備について	<p>森林浴という言葉が使われるようになり37年、今では広く定着しています。</p> <p>また、森林が持つ「癒し効果」についても医学的に解明されるようになりました。</p> <p>森林浴がもたらす癒し効果によるホルモンの変</p>	市長

<p>3 スケートパークの現状について</p>	<p>化、脳活動の変化など生理的効果や、音、風、香り等の人間の五感に与える影響などが明らかになってきました。また、団塊世代の健康意識から散歩やジョギング、ハイキング等が盛んになっています。</p> <p>そのような意味からお幕場森林公園は、本市にとりまして有効な観光資源であると思います。</p> <p>森林セラピーロードとして遊歩道の再整備をすることで、市民のみならず県内外からの来訪者が期待できると思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>多くの視察団が来訪されていると聞いていますが、現状をお聞かせください。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の状況や働きかけの状況はどうなっているか伺います。</p> <p>将来的には指定管理になる施設と思いますが、いつ頃を予定しているのか伺います。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（17番） 木村 貞雄

質問事項	質問要旨	答弁者
1 今年の稲作状況について	<p>岩船産コシヒカリの1等米比率が非常に低く生産者の収入に大きな影響を与えております。その原因と対策について伺います。</p> <p>毎年、栽培指針等については、県が主導的立場で進めておりますが、いろいろと異なる栽培方法等、実証圃で研究されているのか伺います。</p> <p>近年の地球温暖化による高温障害等の対策として、県では高温に強い品種改良の研究を進めているのか伺います。</p>	市長
2 今後の公共施設について	<p>スポーツやレクリエーション施設については多くの施設があり、利用頻度にばらつき等もあることから、今後老朽化が進んでいく中で、財政的な観点から市スポーツ施設整備計画の見直しの方向性について伺います。</p> <p>学校統合後、空き校舎の利活用はどこまで検討されているのかお聞かせください。</p> <p>保育園の施設整備計画の中で、特に村上地区の保育園については老朽化が進んでいます。保育園統合など今後の施設整備の方向性について伺います。</p> <p>市営住宅については老朽化が激しく、入居を受け入れていない住宅もありますが、市営住宅に入居を希望する方々の声が聞こえてきます。現時点での入居待ちの状況と、今後の市営住宅の整備方針について伺います。</p>	市長 教育長
3 日下地内にある「創設非農用地」の利活用について	<p>ほ場整備で取得した約7haの公共用地が、何年も眠ったままの状態になっております。当初の目的</p>	市長

<p>いて</p> <p>4 旧香藝の郷美術館の 利活用について</p>	<p>は体育施設と伺っておりますが、社会状況の変化に伴って若者の働く場の確保等、企業対策を充実させるためにも、土地利用計画を見直す時期かと思いますが、市長の考えを伺います。</p> <p>利活用に関する意見集約及び方向性に関する調査・研究報告では、第1段階が令和4年、第2段階が令和10年となっております。その後の第3段階という計画が長期にわたる理由と、段階に分けた理由をお聞かせください。</p> <p>不動産鑑定評価基準に則らない特殊価格を基に購入したことで建物の使い方もある程度限られるのではと思います。今年度は整備案の策定となっておりますが、現在の状況をお聞かせください。</p> <p>この施設は、ハード面の整備が中心ではなく、ソフトの部分を中心に考えるとのことですが、どのような考え方なのか伺います。</p>	<p>市 長</p>
<p>[メモ]</p>		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（10番）高田 晃

質問事項	質問要旨	答弁者
1 村上市の人事評価制度について	<p>本市では、職員の職務遂行の過程において発揮される能力や業績を評価するため人事評価制度を導入していますが、その現状と成果、今後の課題等について次のとおり伺います。</p> <p>人事評価の基準と評価技術向上に向けた取組について伺います。</p> <p>評価結果の反映方法と制度導入後の成果について伺います。</p> <p>人事評価制度の課題について伺います。</p>	市長
2 総合体育館の耐震改修工事について	<p>荒川総合体育館と朝日総合体育館は、平成27年度に耐震診断を行いました。診断結果に基づく今後の耐震改修工事計画について伺います。</p>	教育長
3 重要伝統的建造物群保存地区指定への取組について	<p>本市では、平成28年に策定した「歴史的風致維持向上計画」により、歴史的な町並みや建造物の保存事業に取り組んでいるところですが、将来的には「重要伝統的建造物群保存地区」指定を進めることが肝要だと思います。今後の取組方針について伺います。</p>	教育長
4 業務改善に向けた取組について	<p>人口減少が進み、業務の効率化が求められる中、自治体の仕事もAIやRPAなど機械に任せようという大きなうねりが来ています。</p> <p>第3回定例会で「業務改善に向けたRPAソフトウェア導入」を提案しましたが、その後の取組状況と今後の具体的な進め方について伺います。</p>	市長

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 5 番） 稲 葉 久美子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 教職員の働き方改革について	<p>変形労働時間制で教職員の時間外労働が問題になっています。全国的には試験的に行われていると聞きますが、村上市の場合は試験を行っているのでしょうか。行われているとしたら結果はどのようなになっていますか。</p> <p>村上市の教職員は勤務時間が長いと感じます。子どもたちのためとはいえ、部活動の顧問など勤務時間が大幅に増えていることが憂慮されます。ある教職員の家族の方から、心配してどうなっているのかと問い合わせもありました。労働時間短縮に向けた改善の方向性について伺います。</p>	教 育 長
2 地域医療と保健医療について	<p>厚生労働省から、公立・公的病院の再編が発表になりました。直前に県内の新聞紙上で県立病院の縮小、再編の病院名が公表され、また県内で研修を希望する研修医が減っているなどの報道がされました。村上市にとって村上総合病院の新築移転の開院を目の前にして、このような発表はどのように受け止められたのでしょうか。</p> <p>妊婦の医療費助成については以前にも質問しましたが、妊婦特有の病気もあることから、健康で安全に出産ができるように妊婦の医療費助成をすべきではないでしょうか。</p> <p>加齢による難聴については、団塊の世代が多くなれば必然的に大問題になってくると思います。健診等で耳鼻科の受診を促すことも必要になりますが、全国的にも補聴器購入の助成も増えています。村上市としても必要と考えますが、考えを伺います。</p>	市 長

[メモ]

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（15番）平山 耕

質問事項	質問要旨	答弁者
1 市町村合併後12年の 検証について	<p>我が村上市は、平成20年4月に1市2町2村が合併し、誕生から12年が経過しようとしています、未だ市が抱える問題は山積しております。</p> <p>つきましては、以下について伺います。</p> <p>本市の少子化対策等人口減少への対策について、その対策内容と現時点での検証について伺います。</p> <p>本市農林水産業の各分野における後継者育成等従事者への支援策について、その支援内容と現時点での検証について伺います。</p> <p>本市の中小企業振興及び雇用創出について、その対策内容と現時点での検証について伺います。</p> <p>行財政改革について、効率的な行政運営に向けた組織機構の見直し及び人件費削減の現時点での検証について伺います。</p>	市長
2 市スケートパークの 運営状況について	<p>オープンから半年が経過しましたが、現時点での催し等利用状況と、使用料等の収入状況について伺います。</p> <p>6月4日付け新潟日報朝刊の「首長の抱負」に市長が、市スケートパークについて「幅広い展開を考えている。商業ベースにも乗るし、地域活性化にもつながる。アスリートの育成もできる」と述べていましたが、今後予定している具体的な取組内容について伺います。</p>	市長 教育長
3 官民連携による空き 家対策について	<p>「平成30年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計結果」によれば、平成30年10月1日現在、我が国には848万9千戸もの空き家があるとの</p>	市長

ことです。なお、この調査は新潟県宅地建物取引業協会村上支部の協力も得て行われたものと記憶しておりますが、同協会によると本市には約1,500棟の空き家があるとのこと。また、本市においても空き家バンク事業に取り組んでおり、多くの方から利用していただいているところです。

しかしながら、放置により倒壊など保安上の危険性や衛生上有害性がある、景観を損なっている等と判断されて「特定空家等」と認められる場合、税法上の優遇対象から除外され、また、倒壊などにより空き家所有者に損害賠償責任が生じる場合、所有者による空き家管理がますます困難となり、市としても空き家対策が一層困難になるものと考えます。

については、特定空家等にならないような各種対策を市の業務として行うことには無理があることから、空き家の状態確認などを市内に42社ある不動産業者と連携して問題解決に当たるべきと思いますが、市長の所見を伺います。

[メモ]

一般質問通告書

質問議員(14番) 竹内喜代嗣

質問事項	質問要旨	答弁者
1 異常気象による風水害対策について	<p>今、地球温暖化による異常気象が進み、台風の勢力も以前より相当強まり、想定を超えた暴風雨や河川水位の上昇が記録されています。千葉県に大きな被害を出した先月の台風15号や今回の台風19号のように、全国どこでも災害が発生しても不思議ではない状況です。</p> <p>昨年の第3回定例会の一般質問では「三面川の洪水浸水想定区域図(最大規模)によれば、村上駅周辺でも50cmから3mの浸水となるようにも区域図には拝見すれば見られます。駅西に移転予定の厚生連村上総合病院は、災害拠点病院として最大規模の洪水に機能するのを見解を伺います」と質問し、ダム機能の認識について再質問したところ、「指摘のとおりしっかりとハザードマップ完成を待たずに不断の調査・研究・対応、これに努めたい」と答弁されています。</p> <p>進捗状況など市長の見解を伺います。</p>	市長
2 木造住宅耐震改修補助金について	<p>住宅の耐震診断、設計改修、除却工事の補助金にかかる代理受領制度を取り入れる市が増えていきます。</p> <p>代理受領制度は、申請者(建物所有者等)との契約により耐震改修工事等を実施した者(工事施工者等)が、申請者の委任を受けて補助金の受領を代理で行うことができる制度です。本制度の利用により、申請者は工事費等から補助金を差し引いた額を用意すればよくなり、当初の費用負担が軽減されます。</p> <p>本市でも実施する考えはないか伺います。</p>	市長

<p>3 高校生が希望の持てる村上市を創ることに ついて</p>	<p>荒川高校の生徒と議会の懇談会に参加してきました。学校を卒業したら地元で働きたいという生徒が多くいました。彼らの心意気に深く感動しました。彼らが地元で働き家庭を持ち、子育てが安心してできるまちづくりがどうしても必要と考えました。</p> <p>市内の現状は、消費税の8%増税以来景気は冷え込んだままです。10%増税で致命的ともいえる状況となってきています。統計によれば、収入が少ない人ほど結婚しないことが明らかです。若者が家庭を持てるような職場が必要です。</p> <p>市内最大の職場である村上市の委託を受けている請負会社や指定管理の現場を総点検することが必要と考えます。</p> <p>消費税増税によって家計の支出が増えたことから、生活費増加分に応じた賃金の支払いが必要と考えます。ポイントは、増税に見合う人件費となっているか労働法、労働者派遣法など諸法規をクリアしているか。見解を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		

一般質問通告書

質問議員(6番) 渡辺 昌

質問事項	質問要旨	答弁者
1 農林業への施策について	<p>急速に進む人口減少により、地域の活力が失われることが懸念されます。将来にわたって、活気のある持続可能な地域づくりのためには、産業振興の取組が不可欠です。それぞれの現状を踏まえ、以下のとおり伺います。</p> <p>朝日地区では農地基盤整備事業への地域からの要望があり、地元の合意形成に向けて活動しているところですが、市として基盤整備事業についてどのように対応していくのか伺います。</p> <p>儲かる農業の実現に向けて、県の「園芸振興基本戦略」が策定されましたが、本市の園芸生産の現状、園芸導入・拡大への可能性や課題などへの認識を伺います。</p> <p>関川村で計画された木質バイオマス発電事業が中止となりましたが、今年度から交付が始まった森林環境譲与税を活用し、森林整備と併せ、本市での木質バイオマス発電事業を積極的に進める考えはありますか。</p>	市長
2 観光への施策について	<p>瀬波温泉の「夕映えの宿汐美荘」が、大江戸温泉物語グループとして来年春頃に再オープンすると報道されています。今後、瀬波温泉だけでなく本市の観光や地域経済に少なからずその効果や影響がもたらされると思いますが、市では情報収集や、今後の新たな観光の取組などの対応をどのように考えていますか。</p> <p>本市の持つ魅力の情報発信などの取組により、観光地としての認知度も徐々に高まっているところですが、現状における課題や、今後の観光振興</p>	市長

<p>3 商工業への施策について</p>	<p>の方向性についての考え方を伺います。</p> <p>企業誘致の取組の現状と、課題について伺います。</p> <p>市内の事業所において、業務の拡充・拡大のため、今後事業所を市外に移すような事態が懸念されます。地域経済への影響を考えれば、市として情報収集や何らかの対応が必要ではないですか。市としての認識を伺います。</p> <p>市内では下水道整備が終了し、さらに公共工事が減少する中、今後建設業界の縮小が避けられない状況となっています。現在、建設事業者は除雪業務を担う一方、自然災害が発生した際にはその対応に大きな役割を果たします。既に除雪車のオペレーターの確保が問題となっており、建設業界の縮小がもたらす市民生活への影響について、どのように認識されていますか。また、その対策への考えはありますか。</p>	<p>市長</p>
<p>[メモ]</p>		